

新年にお母様は“創造主 天の父母様に似た 真の愛を実践する 天一国の真の主人となろう”という揮毫を下さいました。昨年末よりお母様は“真の家庭運動を国家的な次元で広げていくこと、これが統一教会の中心であり天一国創建の柱になる”と語られました。真の家庭を正するために重要な存在は親でありました。親が正しく立つところから家庭が正されていきます。お母様が下さった揮毫の中の“創造主(神様の創造性)”“真の愛を実践する”“天一国の真の主人”の言葉は、どの位置で完成されるのでしょうか。親でなければ成せません。親として正しく出発するには、勝利された真の父母様と一つとなるところからであります。

伝道する為には、私たち自身が幸せにならなければ、人を幸せにすることは出来ません。如何に自分が幸せな家庭を築いていくか、人を伝道するのに私の中に救われたという喜びがなければ伝道に至らないのです。世間では自由奔放に楽しんで生きているように見えますが、それは自分が大事なものを持っていることを見落として、他人が持っているものを見て憧れているのです。本当の自分という価値が分からないからです。金持ちになること、良い服を着る、良い家に住むことなど、それが悪いことではありません。しかし、それだけ見て生きていても、自分の人生を生きたものになりません。霊界に行く直前になると、自分は何も悩まずに楽しんで生きているつもりだけど、最終的には自分がどんな人生を生きてきたのか分からなくなるのです。神様のみ旨を歩み、入籍を果たし、聖和をしていく、神様と生きた私の人生、今日私たちが少し苦勞をして涙をしたとしても、その涙によって神様を知り、み言を知り、永遠なる命がどのようなものであって、その価値をもった私として生きるべく中での涙であるならば、私は悔いが残らないというのです。それを悟ってこそ、万民の前に、そして神様の前に“私こそ天一国の真の主人である”と堂々と証が出来るのです。神様と共にこの時をどのように生きるべく自分であるかを見失ってはいけません。そこに本当の幸せが生じてきます。

人生の中で最も重要なことは親子関係であります。祝福を受けて救いを得たのは、正しい父子の因縁を取り戻したからです。祝福を受ける前までは全ての責任は親にあると言っても過言ではありません。しかし、神様を知り、み言を知って、祝福を受けたその瞬間から、私の問題になります。そのように受け取らないといけません。問題に対して自分に責任があること、何をすべく自分であるか分からない限りは、救われた道、完成する道を失ってしまうのです。また、親に感謝しないといけません。自分を産んでくれた親に対して複雑な思いを持っていると真の父母様の価値も分からなくなります。

真のお父様は聖和されました。真のお母様も聖和されるでしょう。今後、真の父母様に会っていない人たちに、どのようにして真の父母様と一つとなって生きていくのでしょうか。それがみ言です。み言は、ご父母様の全生涯が秘められています。み言に返る為に行っているのが、訓誡会です。訓誡会がなされる所に真の父母様の勝利圏が共鳴されるのです。み言を声に出して体に響かせることによってお父様の勝利圏が体の中の細胞一つ一つに響いてくるのです。天運はそこにあります。ですから訓誡会が成される場所や祭壇がどれほど貴いのでしょうか。そして、訓誡だけでなく、訓誡生活もしなければなりません。真の父母様と一つになることは、み言の如くに実践をしていくことです。み言で生きた実績や事実を天に報告することです。“み言を中心に真の父母様と一つとなってこのような歩みをしました”と、これが報告祈祷です。実践した結果、思うままにいかなかったこと、み言通りにいかなかったことなど、振り返って自分で反省して、悔い改めることが信仰生活であります。人が困って私に助けを要する時は、み言を実践して恩恵があったことなど証をしてあげるのです。私が体験した事実を伝えれば相手は変わっていきます。そして、直ちに私を通じて真の父母様の勝利圏を掴むことができるのです。そこに、み言と真の父母様と共に生きた私の幸せがあるのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、1月度伝道三日路程が行われました。

1月8日(水)～10日(金)

結果:1位 伏見、2位 北都、3位 京都

3、新春特別時事講演会

日時:1月12日(日) 14:00～

場所:サン・アカデミー京都

4、早朝聖地祈祷会

日時:1月15日(水) 5:00～ 場所:京都御所

5、京都教区 清平役事19周年記念特別大役事ツアー

日程:2014年1月17日(金)～1月20日(月)

清平大役事参加、「野牧教会」訪問、市内観光など

6、京都教区祝福式

日時:1月26日(日) 14:00～ 場所:京都教会

7、京都を愛する書写の会

日時:1月28日(火) 10:30～ 場所:京都教会

8、日本文化講演会

日時:1月29日(水) 10:30～

場所:サン・アカデミー京都

9、京都セミナー(二日修練会)

日程:1月18日(土)・19日(日)、1月25日(土)・26日(日)

場所:サン・アカデミー京都

【1日目】13:30～19:00(13:00受付)

【2日目】10:00～16:00(9:30受付)

10、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所:サン・アカデミー京都

11、教区全体特別精誠祈祷会

毎週金曜日 21:00～ 場所:京都教会

12、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会

日程:2/6(木)～2/11(火)、2/20(木)～2/25(火)

13、清平修練会

1/17(金)～1/20(月)、1/24(金)～1/26(日)

◆清平役事19周年記念特別大役事

1/17(金)～1/20(月)

全国食口連合礼拝(予定)

4800億絶対善霊と天使たちの総動員役事

全世界食口伝道大会授賞式、聖物抽選イベント

先祖祝福式、先祖解怨式 所願成就祈祷会



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町 6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: <http://www.uckyoto.org/>

式次第



執礼者：武藤努教区長

司会者：佐々木大作

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	基元節1周年特別精誠	
※讃 頌 聖歌 7 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

「創造主 天の父母様に似た 真の愛を实践する天一国の真の主人になろう!」という年頭標語をいただき、2014年を出発いたしました。その際、いただいた御言のポイントは、1. 私たちの使命は伝道と教育、2. 天の父母様と同じ主人意識、3. 責任意識のない者は流れる、4. 天の知恵を借り、全ての方法と能力を動員して、私たちが未来を変える、5. 実績を毎月、毎年、お返しできる真の孝行息子・娘・忠臣になろう、6. 「なりません」ではなく「なす」であり、必ず勝利、7. 今までの方法を変え、生産性がなくてはならない、8. 全ての面に責任を負う主人意識と責任行動、です。これらの御言が祝福の言葉であるとも言われました。

中心からも、この天の御言を成就すべく、新しい出発の指針が示されました。伝道に向けての環境を整備され、どの地区もがんばれば必ず勝利できます。それは、全国が主人意識を持って、責任もって行動していただき、新しい生産性を持って、より大きな実績を返すと言う年頭の御言を胸に刻んで、成就してくれるという中心の篤い信頼から来ていることです。そのことと深く悟っていただき、責任意識がなく流れる者とならずに、必ず世界に貢献し、伝道に向かって邁進していただきますようお願いいたします。

お父様が全てを完全・完結・完了し聖和され、基元節をもってそのバトンをお母様を中心に我々が受けました。基元節を許され、そのバトンを受けて天一国の主人として出発してまいりました。つきましては、その基元節の1周年を迎えるにあたり、そのことを心に刻み、基元節1周年特別精誠路程をもうけてまいりますので、必ず勝利し、天の信頼を受けることのできる我々となってまいりましょう。

統一運動

初詣「早稲田・高田馬場」聖所巡礼に500名が参加

2011年元旦から「初詣」と冠して行ってきた聖所巡礼も今回で4回目となりました。回を重ねるごとに参加者も増え続け、晴天に恵まれた元旦、東京都新宿区の高田馬場駅前ロータリーには500名を越える教会員らが集まりました。

まず、日本人の教会員で最初に伝道された早稲田・高田馬場聖所巡礼の会の増田勝会長、次に平和統一聯合の金源植副会長、そして、末永喜久子・日本統一教会副会長と平和統一聯合の鄭時東会長夫妻、最後に大脇準一郎・初代「早稲田大学原理研究会」会長の挨拶が続き、2014年1月1日午前11時11分11秒丁度に全体で万歳を叫び、巡礼に出発しました。

参加者の数が多いため複数のグループに分かれ、各グループは歴史編纂部井口康雄部長、宋幸哲・第6地区南北統一担当部長、増田会長が先頭になり、FMラジオを通じて解説を聴きながら、雄鶏舎跡、旧戸塚警察署跡、三橋家下宿跡、早稲田大学キャンパスと巡りました。

文鮮明師が実際に生活をされた地を自分たちの足で歩くことを通し、文師への理解を実感を伴いながら深め、より文師のことを身近に感じ、感動を覚える参加者が多くいました。

最後は箱根山の聖地に集まって全体で祈りを捧げた後、末永副会長が自身が伝道活動の先頭に立っていることを証しながら、「ビジョン2020の勝利を目指して出発しましょう!」と激励しました。

